



国際化の最前線から



JET 地域国際化塾について ～ JET 青年と地域づくり～

総務省自治行政局国際室 総務事務官 橋口 彩香

JET 地域国際化塾は、JET プログラムに参加している青年（JET 青年）が、地域おこし協力隊などの地域づくり関係者との車座（意見交換）を実施し、地域づくりの優良事例を学ぶとともに、視察や体験を通じて地域活動への理解や関心を深めることで、地域の国際化に資する取り組みへの参画を促すことを目的としている事業です。本稿では、2023 年度山梨県で開催した JET 地域国際化塾の様子を紹介するとともに、2024 年度から実施する新しい地方財政措置についてご紹介します。

JET 地域国際化塾の開催について

2023 年度の JET 地域国際化塾は、「JET 青年に知ってもらおう山梨県の過去、現在と未来 ～グローバルな発想を活かした地域活性化～」というテーマで、11 月 15 日から 17 日の 3 日間、山梨県と共催で、県内から 42 名、県外から 20 名の JET 青年の参加により開催しました。

1 日目は、県内の地域づくり関係者の講演を聞き、地域活動の魅力、地域活動への参加の意義や貢献について学び、2 日目は、地域活動への参加や体験、関係者との意見交換を行いました。茅葺民家の集積地「上条集落」にある甲州民家を民泊施設としてリニューアルした施設では、管理人の元地域おこし協力隊員から、伝統的な建造物を後世にどのようにして残していくかや、元地域お



元地域おこし協力隊員の話聞く JET 青年

こし協力隊としての自身の経験や活動についての話を聞くことができました。参加していた JET 青年は、日本の昔ながらの景色や文化に触れながら、真剣に地域

づくり関係者の話を聞き、活発な意見交換を行いました。

3 日目は、視察先の魅力や地域を活性化するための方法、自分たちが貢献可能なことなどについて、グループディスカッションを行い、最後にグループ毎に発表を行いました。とても活発な議論が行われ、事業実施後のア



グループ別の発表の様子

ンケートでも、「JET 青年は本来の業務以外にも、さまざまな地域活動に携わることができることを認識した」「今回の知見や経験を、勤務している学校の生徒にも共有し、地域活動について学ぶ校外学習などを実施したい」との声があり、今回の事業を通して、地域活動に対する理解を深めることができました。

新規地方財政措置について

JET 経験者などの外国人が地域おこし協力隊として地域づくりの現場で活躍する事例も出てきており、その増加に資する取り組みとして、JET 青年などの外国人の地域おこし協力隊への関心喚起のイベントを道府県が実施する際に要する経費について、2024 年度から特別交付税措置を講ずる予定としています。市町村と連携し、より多くの外国人の方々に地域おこし協力隊として活躍していただけるよう、ぜひご活用ください。

プロフィール

橋口 彩香 (はしぐち あやか)
2023 年度 4 月から宮崎市から研修生として総務省自治行政局国際室に所属。